



安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2025/09/24 バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : D/E Neutralizing Broth without Tween
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]
製品コード : NCM0121
Part Number(s) : 700003316|NCM0121A|700003317|NCM0121B|700003318|NCM0121C|NCM0121
1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 化学研究及び開発、分析用薬剤

会社情報

仕入先

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Leshler Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-3-3 横浜コネクスクエア
12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	分類できない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分 4
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 警告

危険有害性 (GHS JP)

: 飲み込むと有害 (H302)

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)

強い眼刺激 (H319)

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (H373)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。(P260)

取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。(P264)

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置

: 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。(P301+P312)

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。(P302+P352)

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

(P305+P351+P338)

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)

特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)

口をすすぐこと。(P330)

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

(P333+P313)

眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。(P337+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

廃棄

: 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

(P501)

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Sodium thiosulfate, anhydrous	≥ 15 - < 25	(1)-503	既存化学物質	7772-98-7
Sodium bisulfite	≥ 5 - < 10	(1)-502	既存化学物質	7631-90-5
Sodium carbonate	≥ 1 - < 5	(1)-164	既存化学物質	497-19-8
Sodium thioglycollate	≥ 1 - < 5	(2)-1363	既存化学物質	367-51-1

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 応急措置をする者の保護 : 救急隊員は、適切な個人用保護具を装備する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 吸入した場合 : 通常の条件下では特に無し。
本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 眼刺激。
- 症状/損傷 飲み込んだ場合 : 飲み込むと有害。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。
- 火災危険性 : 火災の危険は一切ない。
- 爆発の危険 : 直接に爆発する危険は全くない。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

- 消火方法 : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。

非緊急対応者

- 保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
- 応急処置 : 漏出エリアを換気する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
- 応急処置 : 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆います。
- 浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
皮膚、眼との接触を避ける。
個人用保護具を着用する。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
- 安全な容器包装材料 : データなし
- 技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。
保管温度 : 2 - 30 °C

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。
保護具
個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具 : 保護用手袋
眼の保護具 : 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体
外観 : 粉末
色 : ベージュ色
臭い : 特異臭
pH : 7.4 - 7.8
融点 : データなし
凝固点 : データなし
沸点 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
可燃性 : データなし
蒸気圧 : データなし
相対密度 : データなし
密度 : データなし
相対ガス密度 : データなし
溶解度 : 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) : データなし
爆発限界 (vol %) : データなし
動粘性率 : データなし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性 : 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件 : 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質 : データなし
危険有害な分解生成物 : 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 飲み込むと有害
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 区分に該当しない (粉じん、ミスト)

D/E Neutralizing Broth without Tween	
ATE JP (経口)	1402.98 mg/kg BW
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の 60.26%は未知の急性毒性(経口)の成分で構成されている 混合物の 92.59%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の 77.9%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Sodium thiosulfate, anhydrous (7772-98-7)	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg BW (Equivalent or similar to OECD 401, Rat, Male / female, Read-across, Oral, 14 day(s))
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg BW (Equivalent or similar to OECD 402, 24 h, Rabbit, Male / female, Experimental value, Dermal, 14 day(s))
LC50 吸入 - ラット	> 2.6 mg/l (Equivalent or similar to OECD 403, 4 h, Rat, Male / female, Read-across, Inhalation (aerosol), 14 day(s))
Sodium bisulfite (7631-90-5)	
急性毒性 (経口)	データ不足のため分類できない。なお、39%水溶液でのラットの経口 LD50 値として、1,400-2,000 mg/kg (GESTIS (Access on September 2013)) の報告がある。旧分類の LD50 値の平均値 1,310 mg/kg は、SIDS (2004)、ACGIH (7th, 2001)、RTECS (2004) の報告に基づくものであるが、二亜硫酸ナトリウム (固体) の報告であったため、不採用とした。
急性毒性 (経皮)	データ不足のため分類できない。【本項目については、二亜硫酸ナトリウム (CAS : 7681-57-4) の分類を参照のこと。】
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	1540 mg/kg BW (OECD 401: Acute Oral Toxicity, Rat, Male / female, Read-across, Oral, 14 day(s))
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW (OECD 402: Acute Dermal Toxicity, 24 h, Rat, Male / female, Read-across, Dermal, 14 day(s))
LC50 吸入 - ラット	> 5.5 mg/l (Equivalent or similar to OECD 403, 4 h, Rat, Male / female, Read-across, Inhalation (dust), 14 day(s))
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 5.5 mg/l Source: ECHA
Sodium carbonate (497-19-8)	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 = 2800mg/kg、および 4090mg/kg (SIDS (access on July 2008)) はいずれも JIS の分類基準の区分外に該当する (国連 GHS では区分 5 に該当)。

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Sodium carbonate (497-19-8)	
急性毒性 (経皮)	ウサギ LD50 > 2000mg/kg (SIDS (access on July 2008)) により区分外とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義による固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	ラット LC50 (4 時間換算) 1.2 mg/L (SIDS (access on July 2008)) より区分 4 とした。
LD50 経口 ラット	2800 mg/kg (Rat, Male / female, Experimental value, Oral, 14 day(s))
LD50 経口	2800 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg (16 CFR 1500.40, 24 h, Rabbit, Experimental value, Dermal, 14 day(s))
LD50 経皮	2500 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	1.2 mg/l/4h

Sodium thioglycollate (367-51-1)	
LD50 経口 ラット	50 – 200 mg/kg BW (OECD 423: Acute Oral Toxicity - Acute Toxic Class Method, Rat, Male / female, Experimental value, Oral, 15 day(s))
LD50 経皮 ラット	1000 – 2000 mg/kg BW (OECD 402: Acute Dermal Toxicity, 24 h, Rat, Female, Experimental value, Dermal, 14 day(s))

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

D/E Neutralizing Broth without Tween	
pH	7.4 – 7.8

Sodium bisulfite (7631-90-5)	
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。なお、本物質は動物実験で無刺激である (IUCLID (2000)) が、濃厚溶液でヒトに刺激を与えるという情報 (HSDB (Access on September 2013)) があり、国連危険物輸送勧告においてクラス 8 とされている。

Sodium carbonate (497-19-8)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギ皮膚に 4 あるいは 24 時間適用した試験で紅斑および浮腫ともスコアは 0、刺激性なし (not irritating) の結果 (SIDS (access on July 2008)) が得られ、さらにヒトのパッチテストでも 4 時間適用により紅斑および浮腫ともスコアは 0、刺激性なし (not irritating) の結果 (SIDS (access on July 2008)) が得られていることに基づく。なお、ウサギおよびヒトとも損傷皮膚に適用した場合には一次刺激性指数は 2 以上となり若干の刺激性が報告されている (SIDS (access on July 2008), ECETOC No.66 (1995))。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 強い眼刺激

D/E Neutralizing Broth without Tween	
pH	7.4 – 7.8

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Sodium bisulfite (7631-90-5)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ヒトの事例では、本物質は医学文献で軽度の眼と呼吸器への反応が報告されているとの記載がある（ACGIH（7th, 2001））。動物実験では、水溶液での動物実験結果は無刺激との情報もある（IUCLID（2000））が、ACGIH（7th, 2001）は、本物質が眼に刺激性があったと記載している（その強さについては不記載）。ACGIHは情報源 List 1、IUCLIDは情報源 List 2であるため、ACGIHの情報を採用し区分 2B に修正した。
Sodium carbonate (497-19-8)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギを用いた試験において、「刺激性なし（not irritating）」～「強い刺激性（highly irritating）」と相反する結果（SIDS（access on July 2008））が出ている。その中の一つの試験で、非洗浄眼の場合全例に角膜、虹彩、結膜（発赤、浮腫）に症状が発生し、14日の観察期間終了時も症状が残り、ドレイズの最大スコア平均（MMTS）が105と報告されている。また、別の試験の非洗浄眼では、ばく露後1時間で角膜混濁を生じ重度の影響が7日まで持続し、ドレイズの平均評点が角膜で3.8、虹彩で2であり、一部の動物で角膜パンヌスおよび円錐角膜を起こしていた。以上の結果は重篤で不可逆的眼損傷性を示しており、区分1に該当する。なお、pH = 11.58（5 wt% aqueous sol. at 25℃）（HSDB（2003））である。
呼吸器感作性	: 分類できない
Sodium bisulfite (7631-90-5)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。ヒトについての本物質に関する疫学情報や症例報告、動物試験の報告はなく、ACGIH（2001）は要約の中で、本物質の感作性を勧告しうる十分利用可能なデータはない、と記載している。【本項目については、二亜硫酸ナトリウム（CAS : 7681-57-4）の分類を参照のこと。】
Sodium carbonate (497-19-8)	
呼吸器感作性	データなし。
皮膚感作性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
Sodium bisulfite (7631-90-5)	
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。ヒトについての本物質に関する疫学情報や症例報告、動物試験の報告はなく、ACGIH（2001）は要約の中で、本物質の感作性を勧告しうる十分利用可能なデータはない、と記載している。【本項目については、二亜硫酸ナトリウム（CAS : 7681-57-4）の分類を参照のこと。】
Sodium carbonate (497-19-8)	
皮膚感作性	データなし。
生殖細胞変異原性	: 分類できない
Sodium bisulfite (7631-90-5)	
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。本物質の情報はない。なお、亜硫酸塩についての情報としては、in vivo では、マウスの優性致死試験及び染色体異常試験で陰性（ACGIH（7th, 2001））、in vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞を用いる遺伝子突然変異試験で陽性の結果（ACGIH（7th, 2001））があるが、変異原性情報としては十分ではない。
Sodium carbonate (497-19-8)	
生殖細胞変異原性	データ不足。

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

発がん性 : 分類できない

Sodium bisulfite (7631-90-5)	
発がん性	ACGIH (1995) で A4 と評価されている。また、IARC (1992) は亜硫酸水素塩として Group 3 と評価している。従って、本物質は、ガイダンス改訂による分類区分の変更により、「分類できない」とした。
IARC グループ	分類できない

Sodium carbonate (497-19-8)	
発がん性	データなし。

生殖毒性 : 分類できない

Sodium bisulfite (7631-90-5)	
生殖毒性	本物質の生殖発生毒性に関するデータはない。【本項目については、二亜硫酸ナトリウム (CAS : 7681-57-4) の分類を参照のこと。】

Sodium carbonate (497-19-8)	
生殖毒性	ラット、マウスおよびウサギのそれぞれ器官形成期に経口投与した試験でいずれも母体への毒性および催奇形性を含め発生毒性は認められていない (SIDS (access on July 2008)) が、親動物の性機能、生殖能に対する影響に関してデータはなく分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない

Sodium bisulfite (7631-90-5)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	動物に対して粘膜刺激性があるとの記載や、ヒトに対して軽度の呼吸反応があるとの記載 (ACGIH (7th, 2001)) から区分 3 (気道刺激性) に分類した。現行分類の情報は List 3 (GESTIS Access on September 2013) の情報であるため削除し、新たに分類をおこなった。

Sodium carbonate (497-19-8)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ラット、マウスおよびモルモットを用いた試験において、吸入ばく露直後に呼吸障害を起こし、呼吸困難、および喘鳴音が認められ、3-4 時間後に治まった (SIDS (access on July 2008)) との記載より区分 3 (気道刺激性) とした。一方、ラットに経口投与後の症状として運動失調、虚脱、嗜眠が記述され、生存例では 5 日目までに症状が消失している (SIDS (access on July 2008))。また、経皮投与後 24 時間の間に嗜眠が観察されたが死亡の発生はなかったと記載されている (SIDS (access on July 2008))。したがって症状には回復性があり、区分 3 (麻酔作用) とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Sodium bisulfite (7631-90-5)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。なお、亜硫酸オキシダーゼの遺伝的欠損例で神経系変性による死亡例が1例見られた (ACGIH (7th, 2001))、あるいは過敏反応を示した肺炎患者の症例、喘息患者の症状悪化の症例が報告されている (HSDB (Access on September 2013)) が、いずれも1例のみの報告で、本物質ばく露との関連も明らかではない。なお、旧分類では職業ばく露及び消費者ばく露による喘息の事例を根拠に分類が行われたが、本物質ばく露による事例ではない (二亜硫酸ナトリウムばく露による事例) ことを確認した。【本項目については、二亜硫酸ナトリウム (CAS : 7681-57-4) の分類を参照のこと。】
Sodium carbonate (497-19-8)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットに 70 mg/m ³ /4h (0.0467 mg/L/6h) を 3.5 ヶ月間吸入ばく露した試験で、局所影響として気管支上皮の肥厚と剥離、脈管周囲の浮腫が観察された (SIDS (access on July 2008)) が、この所見のみで重大な毒性影響とは判断できない。さらに、雄のみ、一用量のみの試験であり、ばく露による影響についてその他に記載もなく分類できない。
Sodium thioglycollate (367-51-1)	
LOAEL (経口、ラット、90日)	60 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents)
LOAEL (経皮、ラット/ウサギ、90日)	11.25 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: other., Guideline: OECD Guideline 411 (Subchronic Dermal Toxicity: 90-Day Study)
NOAEL (経口、ラット、90日)	20 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents)
NOAEL (経皮、ラット/ウサギ、90日)	≥ 180 mg/kg BW Animal: rat, Guideline: other., Guideline: OECD Guideline 411 (Subchronic Dermal Toxicity: 90-Day Study)

誤えん有害性 : 分類できない

Sodium bisulfite (7631-90-5)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
動粘性率	Not applicable (solid)
Sodium carbonate (497-19-8)	
誤えん有害性	データなし。
動粘性率	Not applicable (solid)
Sodium thioglycollate (367-51-1)	
動粘性率	Not applicable (solid)

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Sodium thiosulfate, anhydrous (7772-98-7)	
LC50 - 魚 [1]	510 mg/l (96 h, Lepomis macrochirus, Static system, Fresh water, Read-across, Lethal)
EC50 - 甲殻類 [1]	230 mg/l (48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Read-across, Locomotor effect)
EC50 72h - 藻類 [1]	> 100 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Read-across, Growth rate)
NOEC (慢性)	> 10 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna Duration: '21 d'
NOEC 魚 慢性	≥ 316 mg/l Test organisms (species): Danio rerio (previous name: Brachydanio rerio) Duration: '34 d'
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-4.35 Source: International Chemical Safety Cards
Sodium bisulfite (7631-90-5)	
水生環境有害性 短期 (急性)	適切なデータが得られておらず分類できない。
水生環境有害性 長期 (慢性)	データなし。
LC50 - 魚 [1]	464 – 1000 mg/l (OECD 203: Fish, Acute Toxicity Test, 96 h, Danio rerio, Static system, Fresh water, Read-across, Lethal)
EC50 - 甲殻類 [1]	230 mg/l (48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Read-across, Locomotor effect)
EC50 72h - 藻類 [1]	> 100 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Read-across, Growth rate)
NOEC (慢性)	> 10 mg/l Test organisms (species): Daphnia magna Duration: '21 d'
NOEC 魚 慢性	≥ 316 mg/l Test organisms (species): Danio rerio (previous name: Brachydanio rerio) Duration: '34 d'
Sodium carbonate (497-19-8)	
水生環境有害性 短期 (急性)	甲殻類 (ミジンコ) での 48h-EC50=250mg/L (SIDS 2002) であることから、区分外とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	難水溶性ではなく (水溶解度=5307mg/L、PHYSPROP Database 2008)、急性毒性が区分外であることから、区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	300 mg/l (96 h, Lepomis macrochirus, Static system, Fresh water, Experimental value, Lethal)
EC50 - 甲殻類 [1]	200 – 227 mg/l (48 h, Ceriodaphnia sp., Semi-static system, Fresh water, Experimental value, Locomotor effect)
EC50 - 甲殻類 [2]	200 – 227 mg/l Test organisms (species): Ceriodaphnia sp.
EC50 96h - 藻類 [1]	242 mg/l Source: ECOTOX
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-6.19 Source: Quantitative Structure Activity Relation
Sodium thioglycollate (367-51-1)	
LC50 - 魚 [1]	> 100 mg/l (OECD 203: Fish, Acute Toxicity Test, 96 h, Oncorhynchus mykiss, Flow-through system, Fresh water, Read-across, GLP)
EC50 - 甲殻類 [1]	47 mg/l (48 h, Daphnia magna, Experimental value, Locomotor effect)
EC50 - 他の水生生物 [1]	47.31 mg/l Test organisms (species):

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Sodium thioglycollate (367-51-1)	
EC50 72h - 藻類 [1]	5.07 mg/l Test organisms (species):
ErC50 藻類	5.1 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Read-across, GLP)
NOEC (慢性)	3.9 mg/l Test organisms (species): Duration: '21 d'
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 22 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.16 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, QSAR)

残留性・分解性

D/E Neutralizing Broth without Tween	
残留性・分解性	急速分解性でない
Sodium thiosulfate, anhydrous (7772-98-7)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable。
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable
ThOD	Not applicable
BOD (ThOD の割合)	Not applicable
Sodium bisulfite (7631-90-5)	
残留性・分解性	Biodegradability in water: no data available。
Sodium carbonate (497-19-8)	
残留性・分解性	Biodegradability: not applicable。
化学的酸素要求量(COD)	Not applicable (inorganic)
ThOD	Not applicable (inorganic)
Sodium thioglycollate (367-51-1)	
残留性・分解性	Readily biodegradable in water。

生体蓄積性

D/E Neutralizing Broth without Tween	
生体蓄積性	データなし
Sodium thiosulfate, anhydrous (7772-98-7)	
生体蓄積性	No bioaccumulation data available。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-4.35 Source: International Chemical Safety Cards
Sodium bisulfite (7631-90-5)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
Sodium carbonate (497-19-8)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-6.19 Source: Quantitative Structure Activity Relation

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

Sodium thioglycollate (367-51-1)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 22 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.16 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, QSAR)

土壌中の移動性

D/E Neutralizing Broth without Tween	
土壌中の移動性	データなし

Sodium thiosulfate, anhydrous (7772-98-7)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-4.35 Source: International Chemical Safety Cards

Sodium bisulfite (7631-90-5)	
表面張力	No data available in the literature
生態系 - 土壌	Low potential for adsorption in soil。

Sodium carbonate (497-19-8)	
表面張力	No data available in the literature
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-6.19 Source: Quantitative Structure Activity Relation
生態系 - 土壌	Low potential for adsorption in soil。

Sodium thioglycollate (367-51-1)	
表面張力	No data available in the literature
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-3 (Experimental value, OECD 107: Partition Coefficient (n-octanol/water): Shake Flask Method, 22 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.16 (log Koc, SRC PCKOCWIN v2.0, QSAR)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil。

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 固体廃棄物については適用法令を遵守する。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制
UN RTDGIに準ずる

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	
	規制されていない
輸送危険物分類	
	規制されていない
容器等級	
	規制されていない
環境有害性	
	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）
【改正後 令和8年4月1日以降】
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）
亜硫酸水素ナトリウム（別表の番号：111）
炭酸ナトリウム（別表の番号：1189）
【改正後 令和8年4月1日以降】
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）
亜硫酸水素ナトリウム（別表の番号：111）
炭酸ナトリウム（別表の番号：1189）
皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質（安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧「eye」）

安全データシート

D/E Neutralizing Broth without Tween

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。